



加藤 元の



と暮らして  
みませんか

17

犬がほえるのは本能です。過剰にほえるのは「ムダぼえ」と呼ぶ（悪い癖であり、飼い主の責任です。そこで、ムダぼえしないようにするためには、飼い主が犬の社会化に努め、良きリーダーになってやる必要があります。まず、犬の運動不足や、飼い主とのふれあい不足などの欲求不満を蓄積させないことです。例えば、犬をひとりにするときには、しっかり噛んで遊べるおもちゃを与えてやりませう。また、毎日犬と遊んでやるのが良いコミュニケーションになり、退屈さやストレスの蓄積を自然に防いでいることとなります。

犬のムダぼえ

## 飼い主が良きリーダーに

普段のしつけと基本的訓練がうまくいっていけば、ほえたときに無視すると自然にほえなくなりませう。また、ほえ始めたら気をそらせてしまうために、既に覚えている「おすわり」や「ふせ」といった命令をしても効果的です。ほえ止まないようでしたら、犬のしつけインストラクターを病院で紹介してもらってください。ほえる原因を見つけておいて相談するとよいでしょう。

間違っても、犬がほえるたびにしかったり、声を出したり、犬のところへ行つてはいけません。犬にとつては、「もっとほえなさい」と励まされていることになってしまいません。

ほえれば、大好きな飼い主がそばに来てかまってもらえるのだということになるのです。それでは逆効果ですね。

うまくいかないときは、犬をやたらにしかったり、ひとりで悩まないで、犬の飼い方・しつけ方や教育に熱心な病院やしつけ訓練インストラクターにまず相談し、ムダぼえの原因にふさわしい対策、対処法を指導してもらおうようにしましょう。過剰にほえやすい犬かどうかは、品種や気質、遺伝が大きくかわりあっています。飼い主との関係が一番大切なのです。

（ダクタリ動物病院・広尾病院院長、日本ヒューマン・アニマル・ボンド・ソサエティ会長）

《産経新聞2004年7月25日掲載》